

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	Java I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	7 単位	
学 年	1年次	時間数	150 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	今日の社会では、様々なところでプログラムが使われています。身近なところでは、スマートフォンやインターネット、自動車を動かすいろいろな制御分野などです。 この科目では、Javaというプログラミング言語を学習します。Javaプログラマの需要は多く、幅広い分野で使われているプログラミング言語です。			
到達目標	Javaの基本構文を理解し、フローチャートを組み立ててプログラムできるようになる。			
教科書・教材	スッキリわかるjava入門／インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	java環境設定／javaとは／java基本構文		
	2	変数・定数／四則演算子／アルゴリズムとフローチャート		
	3	流れ制御構文～条件分岐～		
	4	流れ制御構文～条件分岐～		
	5	流れ制御構文～繰り返し～		
	6	流れ制御構文～繰り返し～		
	7	配列について		
	8	メソッドについて／引数と戻り値		
	9	メソッドについて／引数と戻り値／オリジナルプログラム作成演算		
	10	オリジナルプログラム作成演算		
	11	オリジナルプログラム作成演算プログラム作成演算・評価		
	12	javaAPIについて／パッケージとクラス		
	13	オブジェクト指向について		
	14	クラス図／クラス／部品化		
15	インスタンス化			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。 成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格	基本情報技術者試験（プログラム言語分野） Javaプログラミング能力認定試験 3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	基本午前対策	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	本科目はコンピュータの基礎知識の中でも、2進数等の基数変換、浮動小数点数の考え方、演算処理と命令実行の計算などについて学習します。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験午前問題合格レベル			
教科書・教材	ITワールド/株インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	基数変換 10進数→2進数、 10進数→8進数、 10進数→16進数		
	2	基数変換 2進数→10進数、 2進数→8進数、 2進数→16進数		
	3	基数変換 8進数→10進数、 8進数→10進数、 8進数→16進数		
	4	基数変換 16進数→10進数、 16進数→2進数、 18進数→8進数、 10進表記		
	5	少数点付き基数変換と練習		
	6	負数について 符号ビット、補数とは、		
	7	負数の基数変換の練習プリント		
	8	浮動小数点数について 正規化とは、指数部と仮数部		
	9	浮動小数点数の練習問題		
	10	今までの確認テスト		
	11	論理演算と真理値表、ベン図、ド・モルガンの法則		
	12	シフト演算の練習、中央処理装置と命令の実行について		
	13	キャッシュメモリと高速化について		
	14	直列システムと並列システムの計算問題		
15	午前試験対策			
授業の進め方・履修の心構え	国家資格にむけた基礎的な知識を学ぶ科目のため、しっかり復習を行い、身に付けていくことが大切です。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ハードウェア	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	コンピュータ本体の動作原理や内部構造、CPUやメモリなどの構造や仕組み、入力装置や出力装置などの周辺機器に関する構造や種類など、コンピュータを構成する基本的な装置に関して学習します。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験午前合格レベル			
教科書・教材	ITワールド/株インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	コンピューターの基本構成とデータ表現		
	2	中央処理装置と主記憶装置		
	3	確認テスト		
	4	補助記憶装置		
	5	入出力装置		
	6	単元テスト		
	7	情報処理システムの処理形態		
	8	高信頼化システムの構成		
	9	情報処理システムの評価		
	10	確認テスト		
	11	ヒューマンインターフェース		
	12	マルチメディア		
	13	単元テスト		
	14	単位認定試験対策		
15	単位認定試験対策			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を進めていきますが、過去の基本情報技術者試験午前問題で出題された問題を解きながら進めていきます。 わからない点は質問したり調べたりして授業に遅れないようにします。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ソフトウェア	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	ソフトウェアの仕組みとシステム開発の手法を学ぶ科目です。コンピュータはオペレーティング・システム(略してOSという)が無ければただの箱です。ソフトウェアの基礎知識(OSの役割や機能)と、ソフトウェアを作成(設計)する手法について学習していきます。			
到達目標	基本情報技術者試験の午前および午後で出題されるソフトウェア分野の問題を理解することです。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
教科書・教材	ITワールド/株インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	ソフトウェアの体系による分類		
	2	ソフトウェアライセンスによる分類		
	3	OSの機能と構成/OSの管理機能①<ジョブ管理>		
	4	OSの管理機能②<タスク管理>		
	5	OSの管理機能③<記憶管理(実記憶管理)>		
	6	OSの管理機能④<記憶管理(仮想記憶管理)>		
	7	OSの管理機能⑤<その他の管理機能>		
	8	プログラム言語の分類		
	9	言語プロセッサ①<言語プロセッサの種類>		
	10	言語プロセッサ②<サービスプログラム>/プログラムの属性		
	11	ファイルとレコード/ファイルのアクセス方式		
	12	ファイル編成方式		
	13	小型コンピュータのファイル管理/バックアップ		
	14	第3部の総まとめ【第3部 確認テスト】		
15	第3部の総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を進めていきますが、過去の基本情報技術者試験午前問題で出題された問題を解きながら進めていきます。 わからない点は質問したり調べたりして授業に遅れないようにします。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 午前免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ネットワーク	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学年	1年次		時間数	30時間
開講学期	前期		授業形態	講義
履修区分	選択		教員の実務経験	有
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	現在はインターネットが普及し、コンピュータネットワークが一般的になっています。自宅のパソコンから銀行の大型コンピュータまでもが、ネットワークでつながっています。この科目では、ネットワークの構造と用語を学習します。ネットワークを扱うには多くの知識が必要なため、ネットワーク機器を操作する演習は後期以降になります。			
到達目標	基本情報技術者試験の午前および午後で出題されるネットワーク分野の問題を理解することです。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
教科書・教材	ITワールド/㈱インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内容		
	1	インターネットの接続方法		
	2	インターネットの基本構成		
	3	インターネットサービス		
	4	インターネットの標準プロトコル		
	5	ネットワークの構成要素/基礎技術①<変調>		
	6	ネットワークの構成要素/基礎技術①<同期>		
	7	ネットワークの構成要素/基礎技術①<誤り制御方式>		
	8	ネットワークの基礎技術②<交換方式>		
	9	ネットワークの基礎技術②<その他の通信技術>		
	10	伝送制御手順		
	11	IoT関連技術		
	12	ネットワーク運用管理		
	13	ネットワーク管理手法		
	14	第5部の総まとめ【第5部 確認テスト】		
15	第5部の総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を進めていきますが、過去の基本情報技術者試験午前問題で出題された問題を解きながら進めていきます。 わからない点は質問したり調べたりして授業に遅れないようにします。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 午前免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	セキュリティ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学年	1年次		時間数	30時間
開講学期	前期		授業形態	講義
履修区分	選択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	個人情報をはじめ、様々な機密情報がコンピュータで扱われています。インターネットの普及に伴い、コンピュータは世界中とつながるようになりました。便利になる一方、技術を悪用しようと考え、実行する人も多数現れています。本科目では情報セキュリティの「脅威」とその「対策方法」について学びます。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	情報セキュリティ分野の基本的な考え方を理解する。 情報セキュリティの脅威と、対策方法について理解する。 基本情報技術者試験で出題されるセキュリティ分野の問題を理解する。			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	情報セキュリティの概念		
	2	情報セキュリティの管理対象		
	3	物理的・人的・技術的脅威		
	4	マルウェア		
	5	攻撃手法		
	6	暗号化技術		
	7	認証技術／PKI		
	8	情報セキュリティマネジメント		
	9	情報セキュリティ機関・評価基準		
	10	小まとめ・単元テスト		
	11	物理的・人的・技術的セキュリティ対策		
	12	セキュリティ実装技術		
	13	セキュリティ実装技術		
	14	小まとめ・単元テスト		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説を行い、適宜確認テストを実施します。 専門用語が多いので、授業以外でもしっかり復習しましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	データベース	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通		単位数	2 単位
学 年	1年次		時間数	30 時間
開講学期	前 期		授業形態	講 義
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	コンピュータには大量の情報が格納されます。情報をきれいに整理し、取り出しやすくなったものがデータベースです。RDBとは、データベースの形式の1つですが、世の中の多くのシステムは、プログラムとRDBとネットワークを組み合わせて構成されています。			
到達目標	データベースの基本を学習することです。さらに、基本情報技術者試験の午前および午後で出題されるデータベース分野の問題を理解することです。			
教科書・教材	ITワールド/㈱インフォテック・サーブ データベースとSQL/㈱インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	データベースとファイルの違い		
	2	データベース設計①		
	3	データベース設計②		
	4	データベース正規化①		
	5	データベース正規化②		
	6	データベース正規化③		
	7	データベース管理システム①		
	8	データベース管理システム②		
	9	SQL操作①		
	10	SQL操作②		
	11	SQL操作③		
	12	SQL操作④		
	13	いろいろなデータベース①		
	14	いろいろなデータベース②		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を使って進めていきますが、基本情報技術者試験午前問題で出題された問題を解きながら進めていきます。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 午前免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト・課題提出 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	経営戦略・管理	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学年	1年次		時間数	30時間
開講学期	前期		授業形態	講義
履修区分	選択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	コンピュータを活用し、企業経営に役立てるための分析手法や企業経営の基本的な内容に関して学習します。			
到達目標	基本情報技術者試験の午前および午後で出題されるマネジメント分野の問題を理解することです。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
教科書・教材	IT戦略とマネジメント/株インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内容		
	1	企業活動①<企業活動の目的>		
	2	企業活動②<企業の組織体系>		
	3	企業活動③<経営管理>		
	4	企業会計①<財務会計>		
	5	企業会計②<管理会計>		
	6	経営科学①<応用数学>		
	7	経営科学②<データ収集技法/データ分析技法>		
	8	経営科学③<図解・グラフ・データ分析技法>		
	9	法務と標準化①<知的財産権>		
	10	法務と標準化②<セキュリティ関連法規>		
	11	法務と標準化③<労働関連・取引関連法規>		
	12	法務と標準化④<その他の関連法規/コンプライアンス>		
	13	法務と標準化⑤<標準化と認証制度>		
	14	第1部の総まとめ【第1部単元テスト】		
15	第1部の総まとめ【第1部確認テスト】			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を進めていきますが、過去の基本情報技術者試験午前問題で出題された問題を解きながらや就職後の仕事や日常に関わる情報を踏まえて学習していきます。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 午前免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S: 100~90点 A: 89~80点 B: 79~60点		C: 59~50点 D: 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	



授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	アルゴリズム I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	アルゴリズムとは一般的にプログラミングをする上で欠かせないものですが、大前提としては「問題を解決するための手順や計算法」です。本科目では、日常の身近な事柄を例にアルゴリズムやフローチャートに慣れ、徐々にプログラミング学習におけるアルゴリズムを学び論理的思考力を身に着けます。			
到達目標	フローチャートの記号の意味や使い方を理解する。 アルゴリズムの考え方を理解し、基本構造やデータ処理の基本をフローチャートで書くことが出来る。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	フローチャートとは / 記号や書き方のルール		
	2	アルゴリズム基本構造 (順次処理)		
	3	アルゴリズム基本構造 (選択・分岐処理)		
	4	アルゴリズム基本構造 (繰り返し処理)		
	5	アルゴリズム基本構造 (繰り返し処理)		
	6	データ処理～変数について～		
	7	データ処理～入出力処理～		
	8	データ処理～入出力処理～		
	9	データ処理～文字の代入～		
	10	データ処理～カウンタ処理～		
	11	データ処理～集計 (合計) 処理～		
	12	データ処理～集計 (合計) 処理～		
	13	データ処理～最大値と最小値の探索～		
	14	ループ端記号を用いた繰り返し処理		
	15	定義済み処理の使用方法		
授業の進め方・履修の心構え	本科目で学習する内容は、プログラミング言語を理解するために非常に重要です。Javaなどの他のプログラミング科目で学習する処理の流れと結び付けて考えるように心がけましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	2Dグラフィック	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	様々なシーンで利用できるグラフィックの知識を、Adobe Photoshop及びIllustratorを通して学びます。Photoshopでは写真素材のレタッチや複数画像の合成方法を中心に、Illustratorではロゴやイラスト、デザイン性に優れたグラフィックの作成方法などについて学びます。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なグラフィック技術の理解及び習得を目標とする</li> <li>・自分で問題を解決する力(切り分けができるように)を身に着けること</li> </ul>			
教科書・教材	デザインの学校これからはじめるIllustrator&Photoshopの本/㈱技術評論社			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス (授業の進め方・デザインとは・IllustratorとPhotoshopの違い)		
	2	ロゴを作ろう (Illustrator/ロゴマークとは・マークに込める思い)		
	3	名刺を作ろう (Illustrator/名刺に入れるべき情報・何をアピールするのか)		
	4	写真をもっとカッコ良く (Photoshop/写真のとりかた・空間を切り取る)		
	5	ポストカードを作ろう (Photoshop/テーマに即した写真撮影・言葉を添える)		
	6	プレゼンの準備 (作品のコンセプト・何を伝えるのか・スライド作成)		
	7	オリジナルポストカードの発表会 (前半に作成した作品の発表評価)		
	8	カッコ良い写真合成 (Photoshop/与えられた素材の合成・レイヤーの活用)		
	9	フライヤーを作ろう (Photoshop+Illustrator/フライヤーで何を伝えるのか)		
	10	ご近所マップを作る (Illustrator/シンプルな地図の作り方)		
	11	2Dグラフィック作品の制作①		
	12	2Dグラフィック作品の制作②		
	13	2Dグラフィック作品の制作③		
	14	2Dグラフィック作品発表準備 (作品のコンセプト・何を伝えるのか・スライド作成)		
15	作品発表会 (作品の発表評価)			
授業の進め方・履修の心構え	<p>講師による説明後、演習を行います。基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。毎回授業中に課題を出し、メールで提出してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベストチョイス (出題テーマについて思うこと)</li> <li>・ベストスナップ (自分で撮影した写真にタイトルをつけ提出)</li> <li>・ベストサウンド (心に残った音を報告)</li> </ul>			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 小テスト                  (2) 課題の提出状況および完成度                  (3) 出席率80%以上および授業の積極性による評価                  (4) 提出メールの内容評価</p>			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	HTML演習 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	Webサイト制作者やデザイナーにとって必須の言語であるHTML、XHTMLについて学習します。Webページ作りの基本知識から簡単な応用テクニックまで、ステップバイステップで学びます。さらに、Webの「見た目」を定義するCSSについての基本文法を学びます。			
到達目標	HTMLとCSSの基本を理解し、WEBページを作成することができる。 Webクリエイター試験のスタンダード合格			
教科書・教材	1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座/SBクリエイティブ(株) 教科書範囲：14～151ページ その他：Webクリエイター試験のサンプルテキスト (CD付)			
授業計画	回	内 容		
	1	HTMLとは/環境設定・基本の書き方・見出し・文章		
	2	HTMLのタグについて/画像・リンク・リスト		
	3	HTMLのタグについて/表		
	4	HTMLのタグについて/フォーム		
	5	HTMLのタグについて/ブロック要素		
	6	CSSとは/基本の書き方・文字の装飾		
	7	CSSについて/配色・背景・コンテンツ幅		
	8	CSSについて/余白・線・各種セレクター		
	9	オリジナルページ作成		
	10	WEBクリエイター試験対策		
	11	WEBクリエイター試験対策		
	12	WEBクリエイター試験対策		
	13	WEBクリエイター試験対策		
	14	WEBクリエイター試験		
15	CSSでのデザインについて/HTML演習IIの内容について			
授業の進め方・履修の心構え	基本的に教科書通り進めていきますが、適時課題を用意し、理解を深めることができるようにします。教科書の内容をただそのまま入力するのではなく、入力したものがどのように動いているかをきちんと考え理解する必要があります。			
目標資格	Webクリエイター能力認定試験スタンダード			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	Excel演習	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	Excelの基本操作から始め、表計算、グラフ作成、データ抽出機能について、順次学習していきます。システム開発の一連の作業の中ではExcelを駆使してドキュメントを作成するシーンが多くあります。このソフトウェアを使えるということだけではなく、自身の考えを相手に伝えるための思考力や表現力が必要となります。さらに、もう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習していきます。			
到達目標	Excelの基礎から応用まで幅広く知識を身に付け、表計算処理技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	30時間でマスターExcel2019／実教出版 2019対応Excel表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	表計算の基礎		
	2	関数の説明と練習・復習		
	3	関数の説明と練習・復習		
	4	関数の説明と練習・復習		
	5	グラフの作成と編集		
	6	データベース機能		
	7	条件付き書式		
	8	ピボットテーブルとピボットグラフ		
	9	マクロ		
	10	3D集計と統合		
	11	検定試験対策 1 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	12	検定試験対策 2 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	13	検定試験対策 3 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	14	検定試験対策 4 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	15	検定試験対策 5 (知識・実技問題の実施及び解説)		
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿って学習します。適宜補助プリントも使用します。 課題は必ず提出してください。			
目標資格	Excel表計算処理技能認定試験 2 級以上			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	コミュニケーション I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	就職試験対策講座であるとともに、システムや作品を上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います。			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方、挨拶の仕方なども学びます。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介		
	2	言葉の伝達方法①		
	3	言葉の伝達方法②		
	4	言葉の伝達方法③		
	5	言葉の力①		
	6	言葉の力②		
	7	コミュニケーションの基本を身につけよう①		
	8	コミュニケーションの基本を身につけよう②		
	9	きれいな発声・発音を身につけよう①		
	10	正しい日本語を身につけよう①		
	11	正しい日本語を身につけよう②		
	12	聞くことの重要性①		
	13	聞くことの重要性②		
	14	効果的な表現力を身につけよう		
15	総合演習			
授業の進め方・履修の心構え	日常で当たり前に行っている会話の「話す」「聞く」の基本を学びます。言葉の力や伝える力をゲーム感覚で学ぶので楽しく参加してください。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	グループワークⅠ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	全学科、全学年を在校生全員を対象して開講。システムや作品を作り上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介		
	2	グループワーク①		
	3	グループワーク①		
	4	プレゼンテーション		
	5	グループワーク②		
	6	グループワーク②		
	7	グループワーク②		
	8	プレゼンテーション		
	9	グループワーク③		
	10	グループワーク③		
	11	プレゼンテーション		
	12	グループワーク④		
	13	グループワーク④		
	14	グループワーク④		
15	プレゼンテーション			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	Java II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	7 単位	
学 年	1年次	時間数	150 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>「Java I」の継続科目です。本科目はJavaの思想である「オブジェクト指向」に沿って、プログラミングスキルを磨いていきます。オブジェクト指向の三大要素、カプセル化・インヘリタンス・ポリモーフィズムを、プログラミングではどう記述し、実現していくのか、応用問題に取り組みながら学びます。引き続き試験対策も視野に入れていきます。検定合格が目標です。</p>			
到達目標	Javaのオブジェクト指向を完全に理解し、プログラミングできる			
教科書・教材	スッキリわかるjava入門/㈱インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	オブジェクト指向についての復習		
	2	継承とインターフェース		
	3	抽象クラス		
	4	シュミレーションゲーム作成課題		
	5	シュミレーションゲーム作成課題		
	6	多態性、カプセル化		
	7	APIについて～Date、String		
	8	APIについて～List、Map		
	9	APIについて～thread、File		
	10	try catch、例外		
	11	単位認定オリジナル課題作成		
	12	単位認定オリジナル課題作成		
	13	単位認定オリジナル課題作成		
	14	単位認定オリジナル課題作成		
15	単位認定オリジナル課題作成			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格	基本情報技術者試験 (プログラム言語分野) Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定オリジナル課題の評価</p>			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	SQL演習 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	SQL文を、実際のDB環境で実行確認し、さらに知識を増やします。特に、GROUP BY、JOIN、サブクエリを確実に記述できるよう練習していきます			
到達目標	データ分析を行い正規化ステップからデータベース構築までの技術を身に付けることが目標となります			
教科書・教材	データベースとSQL／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	MySQL環境確認		
	2	SELECT文の基礎①		
	3	SELECT文の基礎②、集合関数とグループ集計／整列①		
	4	集合関数とグループ集計／整列2		
	5	複数のテーブル操作①		
	6	複数のテーブル操作②		
	7	ビュー①		
	8	ビュー②		
	9	副照会／条件分岐①		
	10	副照会／条件分岐②		
	11	トランザクション管理①		
	12	トランザクション管理②		
	13	総合演習①		
	14	総合演習②		
15	データベースの応用			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を使って進めていきますが、実際にSQL文を自ら操作して学習していきます。合間で基本情報技術者試験午後問題で出題された問題を解きながら進めていきます。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	実技試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	



授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	システム戦略	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	4 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	基本の範囲である経営戦略および情報システム戦略および監査を確実に身につけた後、応用の範囲に至るまで知識を深めていきます			
到達目標	用語を理解するだけでなく、実際の現場でどのように活用されるのかを考えながら実践的に学習を進めます。			
教科書・教材	IT戦略とマネジメント／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	経営戦略マネジメント①		
	2	経営戦略マネジメント②		
	3	技術戦略マネジメント		
	4	ビジネスインダストリ①		
	5	ビジネスインダストリ②		
	6	第2部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	7	情報システム戦略の概要		
	8	情報システム企画		
	9	第3部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	10	システム開発技術		
	11	ソフトウェア開発技術		
	12	システム開発環境・Webアプリケーション開発		
	13	第4部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	14	総まとめ【システム戦略 確認テスト】		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を進めていきますが、過去の基本情報技術者試験午前問題・午後問題で出題された問題を解きながらや就職後の仕事や日常に関わる情報を踏まえて学習していきます。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	マネジメントⅠ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	4単位	
学年	1年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の實務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	基本の範囲であるサービスマネジメントおよびプロジェクトマネジメントを確実に身につけた後、応用の範囲に至るまで知識を深めていきます。			
到達目標	過去問題を中心に試験対策をしていく中で、実際のシステム現場に見立てた模擬的なマネジメントを試みます。応用情報技術者試験午前問題マネジメント分野の完全解答を目標とします。			
教科書・教材	IT戦略とマネジメント/株インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	プロジェクトマネジメントの概要・プロジェクトマネジメントのプロセス①		
	2	プロジェクトマネジメントのプロセス②		
	3	プロジェクトマネジメントのプロセス③		
	4	プロジェクトマネジメントのプロセス④		
	5	第5部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	6	サービスマネジメントの概要・サービスマネジメントの手法①		
	7	サービスマネジメントの手法②		
	8	サービスマネジメントの手法③		
	9	サービスマネジメントの手法④		
	10	第6部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	11	システム監査		
	12	内部統制		
	13	第7部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	14	総まとめ【マネジメントⅠ 確認テスト】		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書を進めていきますが、過去の基本情報技術者試験午前問題で出題された問題を解きながらや就職後の仕事に関わる情報を踏まえて学習していきます。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	アルゴリズム II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	「アルゴリズム I」から引き続き、資格試験でも問われることの多い代表的なアルゴリズム（問題を解決する手法や方法）を学び、システムの構築方法や考え方を学びます。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びJavaプログラミング能力認定試験のスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験及びJavaプログラミング能力認定試験の出題内容が理解できる			
教科書・教材	ITワールド/株インフォテック・サーブ Javaプログラミング能力認定試験2級過去問題集/サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	フローチャート基本構造の復習		
	2	データ探索処理：線形探索法		
	3	データ探索処理：2分探索法		
	4	データ探索処理：ハッシュ探索法		
	5	データ整列処理：基本選択法		
	6	データ整列処理：基本交換法（バブルソート）		
	7	データ整列処理：基本挿入法（挿入ソート）		
	8	クイックソート		
	9	文字列処理		
	10	小まとめ		
	11	国家試験・検定試験問題演習		
	12	国家試験・検定試験問題演習		
	13	国家試験・検定試験問題演習		
	14	国家試験・検定試験問題演習		
15	国家試験・検定試験問題演習			
授業の進め方・履修の心構え	「アルゴリズム I」で学習したフローやアルゴリズムの基本的な考え方が理解できていることが前提となります。処理の流れがイメージできない場合は、実際にプログラムを組んで実行し、処理結果を確認して理解を深めましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験 Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ゲーム制作Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	1年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Web、ゲーム、音楽などの作品を制作するには、たくさんの準備が必要になります。こういった場合に何を用意したら良いのか、概括的な講義から、実際の制作を疑似体験することでそのノウハウを学習していきます。自分の考えや思いをどんな手段でどのようなステップで表現していくのかを知ることは、システム開発現場でも必要な要素です。			
到達目標	基本的なUnityの使用方法の習得を目標とする。			
教科書・教材	楽しく学ぶ Unity 2D超入門講座／(株)マイナビ出版			
授業計画	回	内容		
	1	ガイダンス		
	2	スクリプト		
	3	キー入力と衝突判定①		
	4	衝突判定②		
	5	アニメーション		
	6	小テスト・シーンの切り替えとプレハブ		
	7	重力		
	8	カウンター		
	9	小テスト・復習とオリジナルゲーム課題制作準備		
	10	オリジナルゲーム課題制作		
	11	オリジナルゲーム課題制作		
	12	オリジナルゲーム課題制作		
	13	オリジナルゲーム課題制作		
	14	オリジナルゲーム課題制作		
15	制作発表及び評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 課題の提出状況および完成度 (3) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	HTML演習 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>Webページレイアウトの実践的な手法について学習します。Webデザインにおけるワークフローを理解するとともに、Webスタンダードを意識したHTMLとCSSを使った実践的なテクニックを総合的に学習します。</p> <p>CSSについては、CSSの種類をすべて網羅することを目標に、その書き方と効果を学びます。さらには、CSSを使った実践的なテクニックを学んでいきます。</p>			
到達目標	HTMLとCSSを完全に理解し、1 からWebサイトを作成できる			
教科書・教材	1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座/SBクリエイティブ(株) 教科書範囲：152ページ～275ページ			
授業計画	回	内 容		
	1	Webレイアウトについて/FlexboxやGrid		
	2	Webレイアウトについて/フルスクリーンレイアウト・サンプル作成		
	3	Webレイアウトについて/フルスクリーンレイアウト・サンプル作成		
	4	Webレイアウトについて/2カラムレイアウト・サンプル作成		
	5	Webレイアウトについて/2カラムレイアウト・サンプル作成		
	6	Webレイアウトについて/レスポンシブ対応と3カラムレイアウト		
	7	Webレイアウトについて/タイル型レイアウト・サンプル作成		
	8	Webレイアウトについて/タイル型レイアウト・サンプル作成		
	9	外部メディアの利用/コンタクトフォーム・SNS・マップ		
	10	CSSについて/セレクタの種類や疑似クラスについて		
	11	単位認定課題/オリジナルページ作成①		
	12	単位認定課題/オリジナルページ作成②		
	13	単位認定課題/オリジナルページ作成③		
	14	単位認定課題/オリジナルページ作成④		
15	単位認定課題/オリジナルページ提出・寸評			
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿ってCSSのレイアウトについて詳しく学びます。サンプルを作成しつつ形にするために必要なCSSを学んでいきます。様々なレイアウトのWebを作成できるようになるのが目標です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 各オリジナル課題の評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	AI概論 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	無	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	今、流行りのAI、IoT、データサイエンスなどの分野について、基礎となる概要を学ぶ。			
到達目標	AI、データサイエンス、IoTの分野の基本的な考え方を理解する。			
教科書・教材	AI・データサイエンスの基礎／アイテック			
授業計画	回	内 容		
	1	データはどのように処理されてきたのか		
	2	IoTの基礎①		
	3	IoTの基礎②		
	4	AI基礎①		
	5	AI基礎②		
	6	AI基礎③		
	7	AI基礎④		
	8	確認テスト		
	9	AIをビジネスにどう活かすか①		
	10	AIをビジネスにどう活かすか②		
	11	データサイエンス基礎①		
	12	データサイエンス基礎②		
	13	データサイエンス基礎③		
	14	確認テスト		
15	総合確認			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説を行い、適宜確認テストを実施します。 専門用語が多いので、授業以外でもしっかり復習しましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	PowerPoint演習	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	プレゼンテーション技能認定試験上級合格を目指すとともに、ツールを使ってのプレゼンテーションを実践していきます。PowerPointは、企業、制作の現場では非常に頻繁に使用され、使いこなせることが一つの武器になります。PowerPointというソフトウェアを十分に理解し、ポイントを抑えた使い方を学習します。			
到達目標	オリジナリティ溢れるプレゼンテーションスキルを身に付ける。 プレゼンテーション技能認定試験上級に合格する。			
教科書・教材	PowerPointマスター演習問題集／ムゲンダイ出版 2019対応PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	プレゼンテーションの概要		
	2	資料作成 1		
	3	資料作成 2		
	4	資料作成 3		
	5	資料作成 4		
	6	検定試験対策 1		
	7	検定試験対策 2		
	8	検定試験対策 3		
	9	検定試験対策 4		
	10	検定試験対策 5		
	11	プレゼンテーション実践 1 (ストーリー作成)		
	12	プレゼンテーション実践 2 (情報収集)		
	13	プレゼンテーション実践 3 (スライド作成)		
	14	プレゼンテーション実践 4 (スライド作成)		
15	プレゼンテーション実践 5 (リハーサル・プレゼン実施・ふりかえり)			
授業の進め方・履修の心構え	演習問題を解きながらPowerPointを使いこなす応用力を養います。 グループ作業があります。欠席しないようにしてください。			
目標資格	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	国家試験対策Ⅰ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学年	1年次		時間数	30時間
開講学期	後期		授業形態	講義
履修区分	選択		教員の実務経験	有
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	1年次の前期に学習したコンピュータの基礎理論やネットワーク、セキュリティ等について再度理解を深めるとともに、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。			
到達目標	基本情報技術者試験及び修了認定試験合格レベル			
教科書・教材	ITワールド/株インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	9	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	10	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	11	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	12	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	13	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
15	本試験対策			
授業の進め方・履修の心構え	「基本午前対策」を履修したことが条件となります。今まで学習したことをしっかりと復習し、基礎を身に付けることが大切です。			
目標資格	基本情報技術者試験及び修了認定試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	



授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	グループワーク II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	全学科、全学年を在校生全員を対象して開講。システムや作品を作り上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介		
	2	グループワーク①		
	3	グループワーク①		
	4	プレゼンテーション		
	5	グループワーク②		
	6	グループワーク②		
	7	グループワーク②		
	8	プレゼンテーション		
	9	グループワーク③		
	10	グループワーク③		
	11	プレゼンテーション		
	12	グループワーク④		
	13	グループワーク④		
	14	グループワーク④		
15	プレゼンテーション			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座Ⅰ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (式と演算子)		
	2	問題の内容理解と練習 (条件分岐)		
	3	問題の内容理解と練習 (繰り返し)		
	4	問題の内容理解と練習 (配列)		
	5	問題の内容理解と練習 (メソッド)		
	6	問題の内容理解と練習 (クラスとインスタンス)		
	7	問題の内容理解と練習 (継承)		
	8	問題の内容理解と練習 (インターフェース)		
	9	問題の内容理解と練習 (多様性)		
	10	問題の内容理解と練習 (カプセル化)		
	11	問題の内容理解と練習 (クラスライブラリ)		
	12	問題の内容理解と練習 (例外)		
	13	問題の内容理解と練習 (スレッド)		
	14	問題の内容理解と練習 (GUI)		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。</p>			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	MCP受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点</p>		<p>C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	MOS受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) 合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (Word)		
	2	問題の内容理解と練習 (Word)		
	3	問題の内容理解と練習 (Word)		
	4	問題の内容理解と練習 (Word)		
	5	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	6	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	7	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	8	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	9	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	10	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	11	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	12	問題の内容理解と練習 (Access)		
	13	問題の内容理解と練習 (Access)		
	14	問題の内容理解と練習 (Access)		
	15	問題の内容理解と練習 (Access)		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist)</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	